

■ 秋田育英事業の先駆者

栗盛 吉右衛門

くりもり きちえもん

出身地 大館市

1838年（天保9年）～1914年（大正3年）

丁稚奉公の後、商人となり一代で財を築く。自らの人生経験から育英事業の必要を痛感。栗盛教育団を設立、学問を志す人々に奨学金を貸与する。育英事業は以後4代にわたり受け継がれた。



年譜

- 1838年 おおだて 大館市に生まれる。幼名・定五郎。
- 1845年 はこだて わた 家族とともに、北海道函館に渡る。
- 1849年 あらものしょう ほうこう 函館の荒物商に奉公に出る。
- 1857年 きち えもん しゅうめい おおだて もど ごふく 吉右衛門を襲名。大館に戻り荒物、呉服などを扱う店・松前屋を開く。
- 1889年 おおだて 大館2級町会議員。
- 1905年 かとく てつぞう ゆず いんきよ 家督を養子鉄蔵に譲り隠居。
- 1910年 くりもり しんせい 財団法人・栗盛教育団の設立を文部省に申請し、許可される。
- 1914年 おおだて ぼつ さい 大館市で没。75歳。